

東日本大震災から2年～

いわて生協 感謝のつどい 参加報告

理事 浦郷 由季

●被災地 宮古市田老地区 視察

田老地区には3つの大きな防潮堤があり、碁盤の目に区画された町並みはどこからでも山に向かう直線の道路が整備され、避難すれば必ず助かる。

しかし、避難しなかった人たち **180名が犠牲**に。

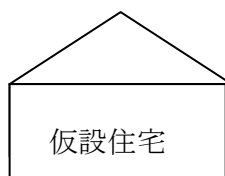
防潮堤を過信し、避難するという基本的なことが伝えられず風化していた。大地震のあとは津波が来ることを前提にまずは**高台に逃げる**ことを強く訴える語り部の沢口さん。(元生協職員)



●被災から3年めの岩手県の現状

寒い・暑い・狭い・交通も不便

まだ3万8千人が暮らす



孤独死、高齢男性の引きこもり、
体調を崩す人、
介護のすすむ人が増えている

小さな仮設住宅、みなし仮設、自宅避難者には支援が少ない。

被災者の願いは「住宅の再建」、しかし土地のかさ上げが進まず建てられない。

二重ローン問題の解決もすすまない。

●そんな中、七夕・クリスマス・ひなまつりのカードプレゼントが喜ばれています

いわての金子常勤理事から

実は、カードプレゼントもユーコープさんのカードが多いからこそ、多くの方々にお届けできています。またカードといっしょにお届けしているお菓子もユーコープさんからのカンパがあればこそお届けできています。カードといっしょにお届けしているお菓子は沿岸の福祉作業所に声をかけ5箇所で作ってもらっています。まとまった仕事がないので、このお菓子の発注は喜ばれていることをお聞きしました。

●いわて生協からのメッセージ

徐々にボランティアなどの支援が減っていく中、3年目のこれからが支援の本番！

1. 被災地の手作り品やメーカー品の販売協力を
2. 被災地を知り、知らせる活動の継続を、ツアーや報告会に協力します
3. 活動資金の援助を

最後まで被災者の支援に取り組みます。**全国の生協の協力をお願いします！**